

令和5年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会

第2回幹事会

開催日時 令和5年11月22日（水）10：00～12：00

開催場所 四日市商工会議所 3階大会議室（オンライン併用）

1 議事次第

- ・議題 第1号 今年度のスケジュールについて・・・・・・・・・・資料2（10min）
- ・議題 第2号 ワーキンググループ（WG）の実施報告・・・・・・・・・・資料3（25min）
- ・議題 第3号 令和5年度スマートシティ実装化支援事業の進捗について・・・・・・・・・・資料4（40min）
- ・議題 第4号 その他報告事項について・・・・・・・・・・資料5（10min）

2 各議題の説明

議題 第1号 今年度のスケジュールについて

前回（令和5年度第1回）幹事会で提示した今年度内のスケジュール案を状況に合わせて更新しております。詳細は資料2を参照ください。

議題 第2号 ワーキンググループ（WG）の実施報告

前回（令和5年度第1回）幹事会以降、データプラットフォームWG、モビリティWGをそれぞれ1度ずつ開催いたしました。各WGの実施状況についてご説明します。詳細は資料3を参照ください。

議題 第3号 令和5年度スマートシティ実装化支援事業の進捗について

本年度5月、国土交通省都市局公募の「令和5年度スマートシティ実装化支援事業」に、四日市市中央通りにおける実証計画案を提出し、補助事業として採択され、協議会会員を中心に各種検討を進めています。詳細は資料4をご参照ください。

議題 第4号 その他報告事項について

8月7日のまちづくりワークショップ、11月3日のまちづくりアイデアソンの開催概要をご説明いたします。また、中央通りの工事進捗についてご説明いたします。詳しくは資料5を参照ください。

3 資料

資料1：次第・議案書（本紙）

資料2：今年度のスケジュールについて

資料3-1：データプラットフォームWGの実施状況について

資料3-2：モビリティWGの実施状況について

資料4：令和5年度スマートシティ実装化支援事業の進捗について

資料5：その他報告事項について

別添1：出席者名簿

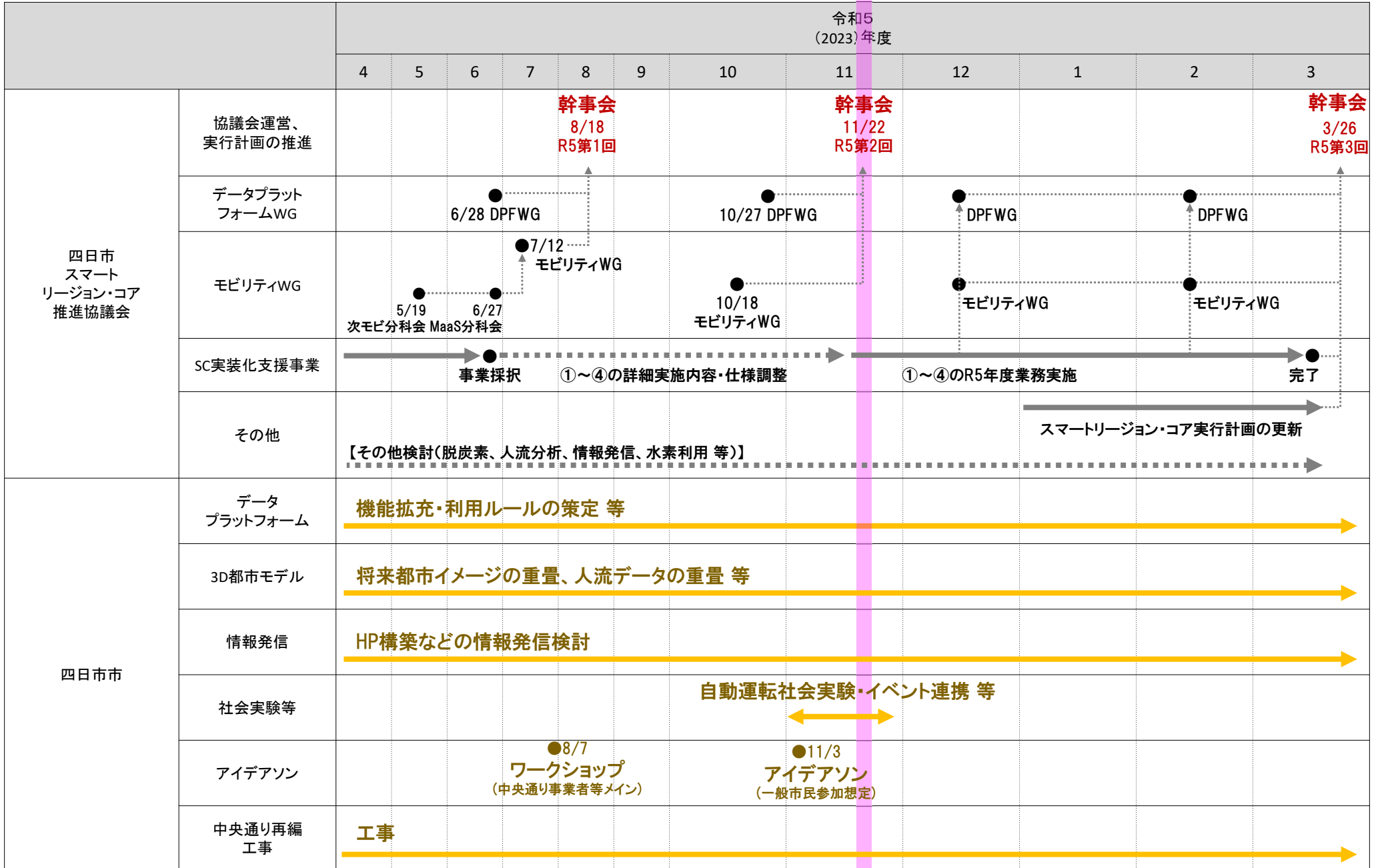
別添2：席次表

以上

今年度のスケジュールについて

資料2

現時点



第9回 データプラットフォームWG (幹事会報告資料)

四日市スマートリージョン・コア推進協議会
データプラットフォームWG

令和5年11月22日

データプラットフォームWG 実施報告

2021年

第1回

12月7日

- 代表企業の選定
- データプラットフォームWGの概要

2022年

第2回

1月20日

- 地域情報化アドバイザーご紹介
- 各社様サービス/データ利活用紹介
- 四日市版データプラットフォームのあるべき姿の検討

第3回

2月21日

- 四日市版データプラットフォームのコンセプト共有
- 実行計画に記載するサービス案

第4回

5月25日

- 令和4年度の検討方針共有
- 勉強会：情報銀行について

第5回

9月15日

- 各種進捗報告
- データプラットフォームWG 今後の進め方（新スキーム）共有

第6回

11月24日

- 各種進捗報告
- WSの開催について

2023年

1月17日

データプラットフォームWG主催 ワークショップ

第7回

3月8日

- 各種進捗報告
- WSにて収集した意見の整理

第8回

6月28日

- 各種進捗報告
- WG活動方針
- 地域団体との連携

報告
今回

第9回

10月27日

- 全体ストラクチャー共有とスマート関連取組状況共有
- 地域団体との連携状況
- 勉強会：他地域の事例から見えるデータ活用検討

10月27日 データプラットフォームフォームWGの参加企業

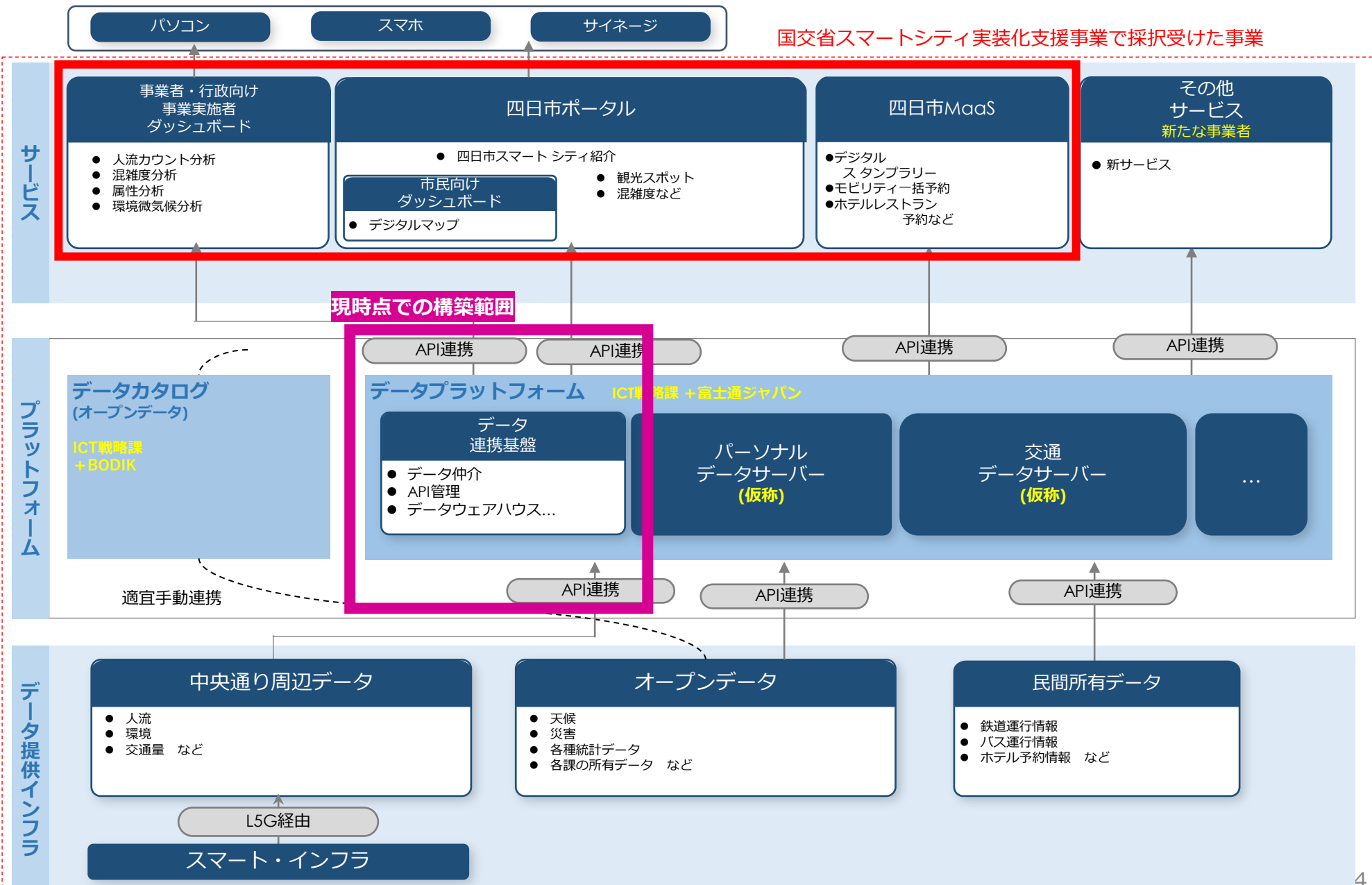
データプラットフォームフォームWG参加企業	位置づけ
(株)シー・ティー・ワイ	代表
近鉄グループホールディングス(株)	
(株)三十三銀行	
中部電力(株)	
(株)日建設計	
(株)バカン	
(株)FIXER	
(株)マクニカ	
三重交通(株)	
富士通Japan	
四日市商工会議所	
内閣官房 オープンデータ伝道師 武蔵大学 庄司 昌彦	アドバイザー
四日市市	事務局
(株)日建設計総合研究所	事務局補佐

(代表、アドバイザー、オブザーバー、事務局および事務局補佐を除き五十音順_継承略)

サービス含めた全体ストラクチャーの共有

～全体ストラクチャー（ありたい姿）～

国交省スマートシティ実装化支援事業で採択を受けた事業



- 令和5年度 データプラットフォームWGでは、中心市街地の回遊性の向上、賑わい創出などに取り組む四日市エリアプラットフォームと連携し検討、取組を実施。
- 四日市エリアプラットフォームは、地域住民、商店街や民間団体などにおける主体的な立場の方々に構成されている。
- このような方々が感じているまちなかの課題やデータプラットフォームに対するニーズを聞き取り、共同で検討を実施中。

まちなかを知ってもらうためのみなさんの課題

四日市エリアプラットフォーム会議やそのほか街中の会合などで出たみなさんの意見

まちなかにある
人気スポットを
広報できていない

まちなかに
住んでいても
知らない場所がある

いろいろなMapが
あってどれが最新か
分からない...

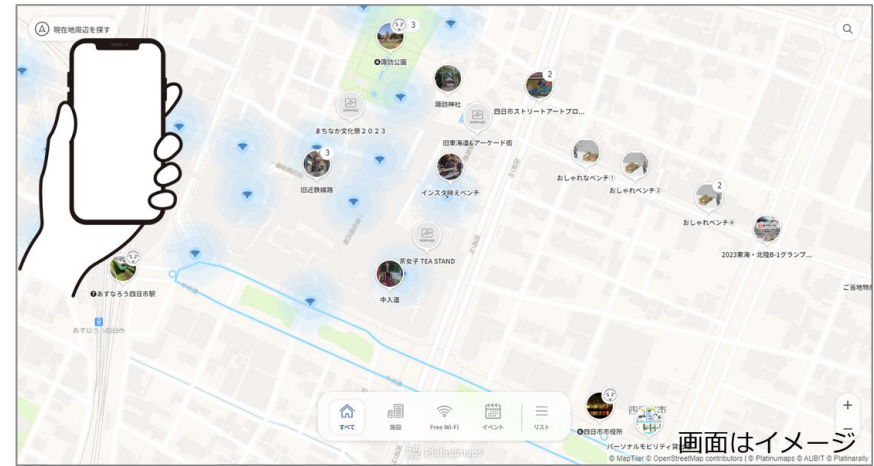
Mapの更新が手間

などなど...

デジタル化で解決！

まちなかの人気をスポットをデジタル化

まちなかの施設や名所などのスポットをデジタル化し
スマホ、パソコンなどの通信端末で視覚化



- エリアプラットフォームでは、『まちなかのMAP作成』『来場目的の把握』などが検討にあがっている。
- WG会員が運用しているデジタルマップを活用し、MAPを試験的に作成、来場者の中心市街地のランドマークの関心度を11月18日、19日のイベントに向けて検証。

四日市エリアプラットフォームとの連携状況

〔取組内容〕

- ・四日市エリアプラットフォームが選定したスポットを入力したデジタルマップを作成し、公開
- ・四日市エリアプラットフォームが予測する人気のスポットと実際の人気スポットを検証（予定）

※今回、人気スポットの定義はスポットマークのアクセス数とした

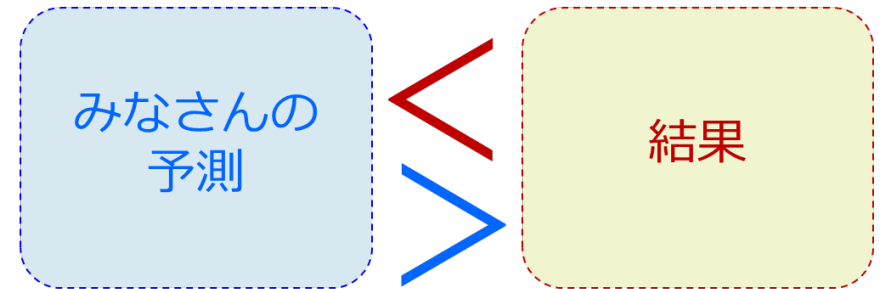
◆予想上位の人気スポット（予想）

・・・諏訪神社、東海道、アーケード街、地元高校とコラボ制作したベンチ

デジタルマップに入力したスポット概要

四日市エリアプラットフォーム選定スポット		デジタルスタンプラリースポット	
1	中入道	14	四日市市茶室 酒翠庵
2	旧近鉄線路（アーケード内）	15	四日市市立博物館
3	アーケード内に旧東海道	16	四日市市民公園
4	三重県最大のアーケード街	17	諏訪公園
5	USED BOOK BOX	18	稲葉三右衛門像
6	四日市ストリートアートプロジェクト	19	四日市市役所
7	諏訪神社	20	あすなろう四日市駅
8	インスタ映えベンチ（酒商コラボ企画）	21	稲葉翁記念公園
9	郷土文化財の床絵図（一番街キタオカ付近）	22	四日市市総合体育館
10	諏訪新道実証『おしゃれなベンチ』	23	ばんこの里会館
11	くすの木パーキング	24	もみじ谷
12	スワ・セントラルパーキング	25	南部丘陵公園
13	諏訪公園駐車場	26	垂坂公園・羽津山緑地

四日市エリアプラットフォームメンバーが予想した人気スポットと結果の差を検証（予定）



新たな魅力が見つかるでしょうか？

人気スポットはデジタルマップ上のスポットマークのアクセス数
(本来は実際の来訪数、周辺の人流調査もしておきたかった)

〔参考〕 四日市エリアプラットフォーム概要

三重県四日市市：中心市街地

エリアプラットフォームの構築/未来ビジョン等の新規策定

都市再生整備計画事業「リージョン・コアYOKKAICHI地区」におけるまちなかウォーカブル区域を含めた中心市街地において、パブリックスペースの質的向上と回遊性向上によるまちの活性化や賑わいの創出を図るため、官民一体となるプラットフォームを組成し、多様なプレイヤーが共有する未来ビジョンの策定を目指す。

事業概要

■ 構成員と専門人材 <四日市市エリアプラットフォーム>



【官】四日市市
【民】四日市諏訪商店街振興組合ほか商店街関係者、商工会議所、観光協会、街づくり協議会、自治会、(株)ディア四日市、(株)シーティーワイ、四日市大学、東京大学地域未来社会連携研究機構等

【専門人材】



有賀 隆氏
都市設計・計画／早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授



村山 顕人氏
都市工学／東京大学 大学院工学系研究科 准教授



石田 祐也氏
建築設計・パブリックスペースデザイン／合同会社ishau代表、一般社団法人ソノバ共同代表理事

過年度の取組

これまで商店街や民間有志が中心となった公共空間の活用として、以下のような取組みを行ってきた。

- 1) Park(ing)Day四日市 (R2.9)
- 2) オープンストリートインヨッカイチ (R3.11)
- 3) 四日市JAZZ フェスティバル (H24～)
- 4) オリジナル屋台「スワ屋台」開発 (R2.3)
- 5) USED BOOK BOX (R3.4)



未来ビジョンの検討方針

【課題】屋間の人通りが少なく、日常的なにぎわいが生まれにくい

【方針】中央通りの街路空間再編、近鉄四日市駅前のバスタの整備等、中央通りを中心としたウォーカブルなまちづくりと連動しながら、後背地にある諏訪新道やアーケード街等の商店街と住宅街の道路空間や、諏訪公園や市役所東広場等のパブリック空間を歩行者ネットワークの重要な拠点として捉え、それぞれのあり方を日常的なにぎわいという視点から検討する。

■ 将来イメージ 「日常的なにぎわいをうむパブリックスペースが人をつなぐ」

スケジュール

■ R4年度

事業名	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
中央通り		●#1			●#2			●#3			●#4	
分科会	-----											
事業実施	-----											

●実施・調査 ●アンケート実施・分析
プロジェクト毎に通覧開催

■ 今後の予定

R5 未来ビジョン策定予定

令和5年度
モビリティワーキンググループ
幹事会報告資料

2023.11.22

本年度の取組全体スケジュール

■各分科会の活動内容概要と本年度のスケジュール

- ①次世代モビリティ分科会：自動運転バスやパーソナルモビリティといった次世代モビリティの社会実装検討
- ②データ連携・MaaS 創出分科会：「四日市版MaaS」創出に向けた活動
- ③スマートバスタ分科会（こちらは現在ペンディング中）：バスタの先進的な利活用に関する議論を通してバスタの活用率を最大化する目的

■今年度変更点

- ・「分科会」をクローズし、上記①②を纏めて「モビリティWG」内にて開催（10月以降）
- ・次回WGは12月下旬～1月初旬を予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~3月	
WG開催				● R5 第1回WG (7/12 実施済)			● R5 第2回WG (10/18)		● R5 第3回WG(予定)	● R5 第4回WG(予定)	
次世代モビリティ		● 第2回分科会 (5/19 実施済)	●						社会実証	検証	実行計画
データ連携、 MaaS	● 第4回分科会 (3/16実施済)	●		● 第5回分科会 (6/27実施済)	●				11/1/-19	期間	アップデート
スマート・バスタ	開催未定										
幹事会					● 幹事会 8/19			● 幹事会 11/22		● 幹事会 3/26	

第二回モビリティWG(10/18)の参加企業

R5年度の第二回モビリティWGはリアル・オンラインのハイブリットで実施し、13の企業及び団体から38名が参加。

モビリティWG参画企業	位置づけ
(株)マクニカ	代表
近鉄グループホールディングス(株)	
三岐鉄道(株)	
(株)シー・ティー・ワイ	
中部電力(株)	
(株)日建設計	
(株)バカン	
FUTURE(株)	
富士通Japan(株)	
三重交通(株)	
四日市商工会議所	
国土交通省三重河川国道事務所	オブザーバー
四日市市	事務局
(株)日建設計総合研究所	事務局補佐

(代表、アドバイザー、オブザーバー、事務局および事務局補佐を除き五十音順_継承略)

令和5年度モビリティWGの実施概要報告

(データ連携・MaaS分科会) 第4回 令和5年3月16日(木)

- 前回の分科会議論振り返り
 - ・ 「四日市版MaaS」開発に向けた各社様からの意見共有
 - 「四日市版MaaS(仮)」開発プロセス案について
 - ・ 開発に向けた役割分担や進め方に関する意見交換
- * Phaseを3つに分けて、スモールスタートから初めて段階的に開発を進めていく方向性にて各社合意**

(データ連携・MaaS分科会) 第5回 令和5年6月27日(火)

- 四日市版MaaS(仮) 開発プロセス案について
 - ・ 中長期企画概要(フェーズ1~3の概要・スケジュール)
 - ・ 今年度の企画概要(フェーズ1としてのデジタルスタンプラリー等)
 - ・ 今年度のスケジュール(秋のイベントまでのマイルストーン等)

(次世代モビリティ分科会) 第2回 令和5年5月19日(金)

- 昨年度実証実験「まちなかモビリティ」について
 - ・ 令和4年度に実施した実証実験の振り返り(要約)共有
- 「四日市版MaaS」今年度の実施事項(案)
- モビリティ実証実験と参加募集について
 - ・ 令和5年度の実証実験に向けた次世代モビリティ活用に関する参加企業の募集を実施

(モビリティWG) 第1回 令和5年7月12日(水)

- 今年度の自動運転実証実験について(全体像確認)
- データ連携・MaaS分科会/次世代モビリティ分科会における議論内容の振り返り
- SC実装化支援事業を踏まえたモビリティ分野の取組
*** 国交省スマートシティ実装化支援事業への採択により、令和5年度から3年間で「四日市版MaaS」の開発構築を本格的に進めていながら、一方で自動運転等の次世代モビリティも合わせて実装を目指す**

(モビリティWG) 第2回 令和5年10月18日(金)

- 本年度の取り組み全体スケジュール
- 自動運転実証実験進捗共有
- MaaS構築検討進捗共有
- SC実装化支援事業~MaaSについて(3年間の見通し)
- 意見交換
 - ・ 主に令和5年度の実証実験に向けた進捗状況の共有と下期以降のWGの運営、今後に関する議論を実施

自動運転実証の進捗の共有

令和5年度自動運転実証実験について



■開催日

令和5年11月1日（水）～11月19日（日）
運行時間：午前10時～午後4時30分

■開催場所

中央通り（市民公園～近鉄四日市駅～JR四日市駅間）

■参加企業・自治体

- 三重県四日市市（実証実験主体者）
- 株式会社マクニカ（自動運転車両実装支援、運行支援、オペレータ）
- 三重交通株式会社（オペレータ）
- 三岐鉄道株式会社（オペレータ/パーソナルモビリティ提供）
- ユマニテクプラザ（遠隔監視室提供）
- 株式会社シー・ティー・ワイ（ローカル5G提供）

■令和5年度テーマ

- 中央通りにおける多様な移動手段の提供と体験価値向上
- 回遊性向上を目的としたコンテンツ提供（デジタルスタンプラリー）

■実施内容

1. 自動運転バス

車両：NAVYA ARMA 2台（6名乗車）

保安員は同乗せず、オペレータ1名で運行（遠隔監視員配置）

日程：11月1日（水）～11月19日（日）（月曜日を除く）

※11/18（土）・11/19（日）はB-1グランプリ

時間：10:00～16:30

ルート：【一般試乗 | 青】近鉄四日市駅～JR四日市駅（11/1～11/19）

【関係者試乗 | 青・緑】市民公園～近鉄四日市駅～JR四日市駅（11/7～11/9）



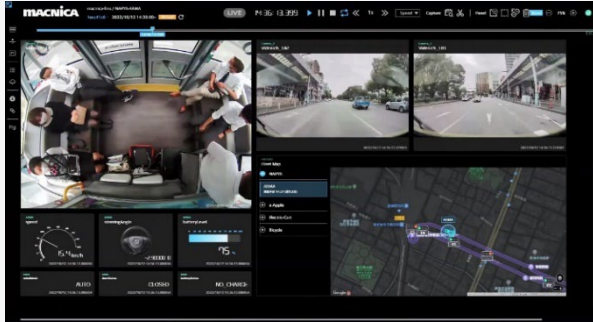
令和5年度自動運転実証実験について

■検証内容

- 1) 遠隔監視：ローカル5Gを活用した遠隔監視（4Gとの違いを確認）
また、自動運転バスの位置情報と連動した自動音声案内を配信する。

<令和4年度検証内容>

車両走行状態（位置・速度・車内外の映像の監視）の確認や将来の無人走行を想定し、車内モニターを通した乗客とのコミュニケーションを（乗降時に遠隔監視室から案内等）実施した。



遠隔監視モニター

課題

カメラ映像や遠隔監視室からのアナウンス時に、通信状況が悪くなり、映像や音声途切れるケースがあった。

- 2) 信号協調：信号情報を取得するプログラムを変更することにより情報の遅延の解消を確認する。

<令和4年度検証内容>

信号制御機を信号情報を送ることができる機器に交換し、信号機の情報（信号の残秒数）を得られるようにする信号協調を行った。信号情報は保安員のタブレットで確認し、この情報を運転士へ伝え、信号交差点への進入・停車を判断した。



信号協調

課題

信号情報をタブレットの画面に反映させるまでに最大1秒程度の遅延があった。

※11/7（火）～11/9（木）はユマニテクプラザにて遠隔監視見学可能

- 3) 運行頻度：複数台（2台）の車両運行による利便性向上確認

<令和4年度検証内容>

中央通りで車両を走行させ（1周1時間）、利用状況を確認した。

課題

低速で走行する車両を気軽に乗車できるようにするためには運行本数が不足していた。

- * 本年度は中央通りにおける工事が実施されているため、場所によっては自動運転困難な箇所あり
- * 平日は予約無しで自由乗車、休日のみ予約システム活用して乗車

令和5年度自動運転実証実験について

2. 自動運転小型モビリティ

車 両：PARTNER MOBILITY ONE 2台
日 程：11月16日(木)～11月19日(日)
時 間：10:00～16:00
ル ー ト：①市役所前(11/16・11/17)
 ②三滝通り(11/18・11/19)



3. パーソナルモビリティ

■電動スクーター

車 両：OWORD 3台
日 程：11月16日(木)～19日(日)
時 間：10:00～16:00
走行区間：中央通り(市役所前～JR四日市駅)
【乗降場】市役所前
*16歳上の方から乗車可能(免許不要)



車 両：GEV600(3台)
日 程：11月18日(土)・19日(日)
時 間：10:00～16:00
走行区間：中央通り(近鉄四日市駅～JR四日市駅)
【乗降場】市役所前
※原動機付自転車免許が必要です。



令和5年度自動運転実証実験について

■電動アシスト自転車

車 両：カーゴトライク STREEK 2台
日 程：11月18日（土）・19日（日）
時 間：10:00～16:00
走行区間：中央通り（市役所前～JR四日市駅）
【乗降場】市役所前



車 両：MANTUS27 1台
日 程：11月18日（土）・11月19日（日）
時 間：10:00～16:00
走行区間：中央通り（近鉄四日市駅～JR四日市駅）
【乗降場】市役所前



車 両：mini Fold16 3台
日 程：11月18日（土）・11月19日（日）
時 間：10:00～16:00
走行区間：中央通り（近鉄四日市駅～JR四日市駅）
【乗降場】市役所前



車 両：こにゅうどうレンタサイクル 5台
日 程：11月1日（水）～11月19日（日）（月曜日除く）
時 間：10:00～16:00
走行区間：自由
【乗降場】市役所前



広報資料



乗ってたのしい めぐってたのしい

次世代につなぐ新しい移動体験！
Smart Mobility in YOKKAICHI

四日市市

モビリティ実証実験

2023.11.10 ~ 19日

参加無料

自動運転バス 乗車登録方法

- 自動運転バスのご乗車には**乗車登録**が必要です。
- 土日祝は**事前予約**ができます。※10/25(水)より受付を開始します。

STEP1

登録・予約サイトもしくはCTY コネクトアプリからアクセス



登録・予約サイト CTY コネクトアプリ

STEP2

画面に従い二次元コードを発行



登録・予約完了後二次元コードが発行されます。

STEP3

二次元コードを提示して乗車



乗務員がタブレットで二次元コードを読み取ります。

こにゅうどうくん 景品!

自動運転バスや公共交通機関を使って楽しく快適に市内を周遊しよう!

デジタルスタンプラリー同時開催

参加方法

- CTYコネクトアプリをダウンロード
- MyCTYへログインし、「スタンプラリー」より参加
※初めてのの方はMyCTYの登録をお願いします。
- 各スポットでクイズに答えてデジタルスタンプをゲット!
※アプリの位置情報をONにしてください。
- 5箇所以上スタンプを集めて景品と交換!

※参加にあたって発生する交通費や通信費等は参加者のご負担となります。


景品

スタンプの数に応じて「こにゅうどうくんオリジナルグッズ」をプレゼント!
5個以上でクリアファイル
8個以上でさらに3色ボールペンをプレゼント

交換期間 11/1(水)~26(日)
交換場所 CTY ラウンジ(トナリ工四日市3階)
※景品はなくなり次第終了です。

デジタルスタンプラリースポット

- ① 四日市市茶室 四翠庵
- ② 四日市市立博物館
- ③ 四日市市民公園
- ④ 諏訪公園
- ⑤ 稲葉三右衛門像
- ⑥ 四日市市役所
- ⑦ あすなろう四日市駅
- ⑧ 稲葉義記念公園
- ⑨ 四日市市総合体育館(中央緑地)
- ⑩ ばんこの里会館
- ⑪ もみじ谷
- ⑫ 南部丘陵公園
- ⑬ 華坂公園・羽津山緑地



自動運転バス [NAVYA ARMA]


日程 11/1(水)~19(日) (月曜日除く)

定員 6名 **速度** 最高時速18km

特徴 ハンドル、アクセル、ブレーキペダルなし。手動走行時はコントローラーで運行します。

当日乗車には事前予約(土日祝)

遠隔監視の見学ができます!



日程 11/7(火)~9(木)
時間 10:00~16:00
場所 ユニテックプラザ3階(隣の森1丁目)

自動運転バス運行ダイヤ (月曜日(11/6・13)は運休)

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
近鉄四日市駅	00 30	00 30	00 30	00 30	00 30	00 30	00
市役所前	07 37	07 37	07 37	07 37	07 37	07 37	07
JR 四日市駅	00 30	00 30	00 30	00 30	00 30	00 30	00
裁判所前	05 35	05 35	05 35	05 35	05 35	05 35	05

※水色: 11/7(火)~9(木)は一般の方は利用できません。

自動運転小型モビリティ [PARTNER MOBILITY ONE]

当日乗車のみ

日程 11/16(木)~19(日)

運行時間 10:00~16:00

定員 3名

速度 時速3km程度

乗降場 ・市役所前 11/16(木)・17(金)
・三滝通り 11/18(土)・19(日)

パーソナルモビリティ

当日乗車のみ

貸出時間 10:00~16:00


使用時間 30分程度

電動スクーター
・OWORD 11/16(木)~19(日)
・GEV600 11/18(土)・19(日)

電動アシスト自転車
・カーゴバイク STREEK 11/16(木)~19(日)
・MANTUS27, mini Fold16 11/18(土)・19(日)
・こにゅうどうくんサイクル 11/1(水)~19(日) (月曜日除く)

乗降場

- 自動運転バス
- 自動運転小型モビリティ
- パーソナルモビリティ



※天候の影響により中止となる場合があります。

協力 **MACNICA** **三重交通** **三岐鉄道** **CTY** **Humanitec Plaza**

主催・問い合わせ 四日市市/四日市市都市計画課公共交通推進室

TEL 059-354-8095(平日 8:30 ~ 17:15) E-mail:koutsuu@city.yokkaichi.mie.jp

実証実験の様子



MaaS検討の進捗の共有

～デジタルスタンプラリーについて～

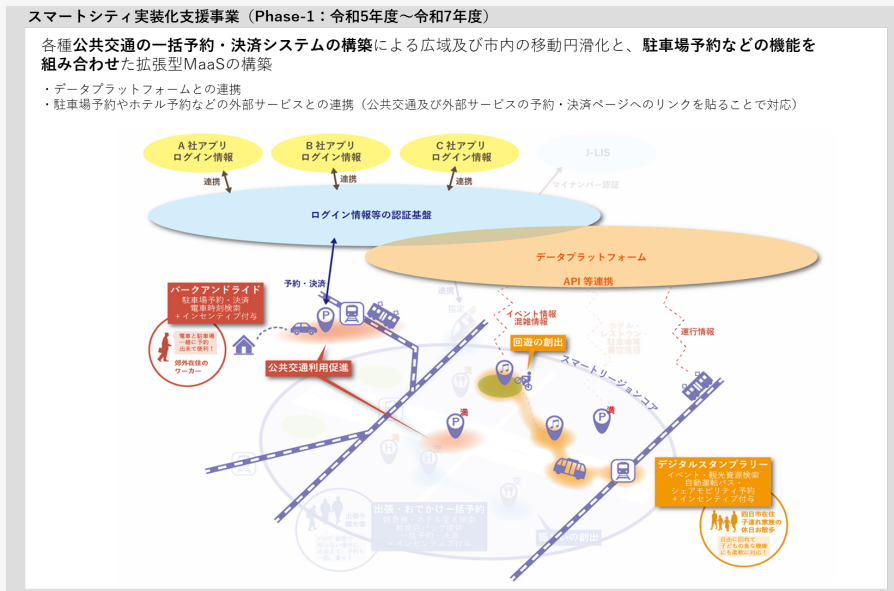
はじめに

四日市市では令和3年度に策定した「四日市スマートリージョン・コア実行計画」に基づき、スマート化に向けたサービス展開を推進。

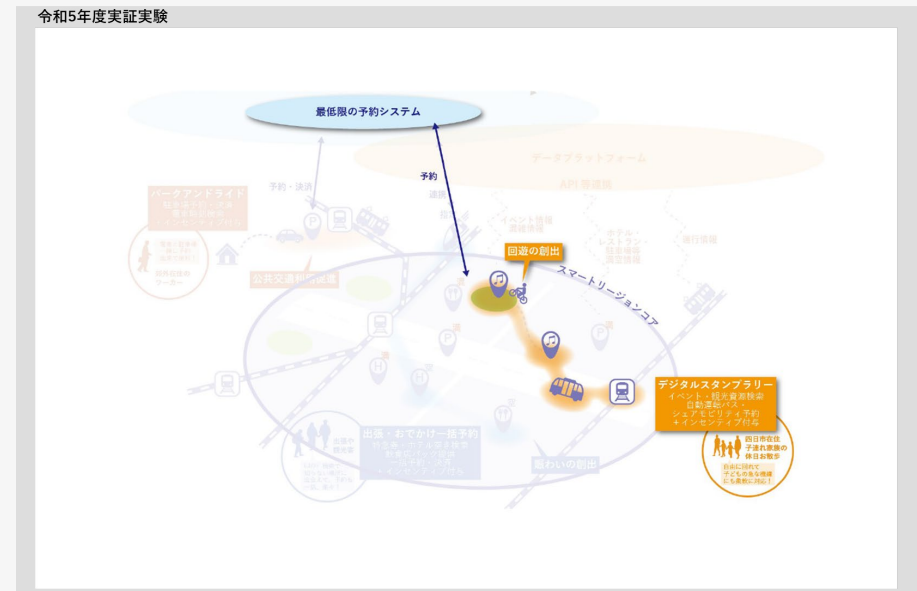
本年度5月には、国土交通省都市局公募の「R5年度スマートシティ実装化支援事業」に、四日市市中央通りにおける実証計画案が提出され、補助事業として採択された。

これに伴い、四日市版MaaS構築の取組に関連する3か年の実装化支援事業が企図されている。

このような背景を踏まえ、四日市版MaaSのPhase1に対応するデジタルスタンプラリーを利用したアプリケーションの開発とそれを用いた実証実験の実施する。




スマートシティ実装化支援事業



令和5年度実証実験

概要

項目	内容	備考
タイトル	「こにゅうどうくんを探せ！デジタルスタンプラリー」	
日程	11月1日（水）～11月19日（日）	
場所（目的地）	四日市市内（次スライド参照）	
目的	回遊性向上：中央通り周辺における来訪者の回遊性向上 賑わい創出：中央通りの来訪者数の増加 モビリティ利用機会提供：自動運転を含む多様なモビリティの利用機会提供 地域認知度向上：中央通り周辺における主要施設・名所の認知度向上	
内容	デジタルスタンプラリー 公共交通機関等を利用して四日市市内の各所に設置されたデジタルスタンプを収集することで景品と交換できる体験イベント	
対象	四日市市民及び観光客	
参加費	無料	
コース・景品	初級コース（デジタルスタンプ5個以上）：クリアファイル x 1,000個 上級コース（デジタルスタンプ8個以上）・3色ボールペン x 200個	
参加方法	CTYコネクト（CTY社の地域アプリ）より参加 ※CTYコネクト>MY CTY>スタンプラリーを選択 ※CTYコネクトのアプリダウンロードとMY CTYのID登録が必要	

目的地



デジタルスタンプラリースポット

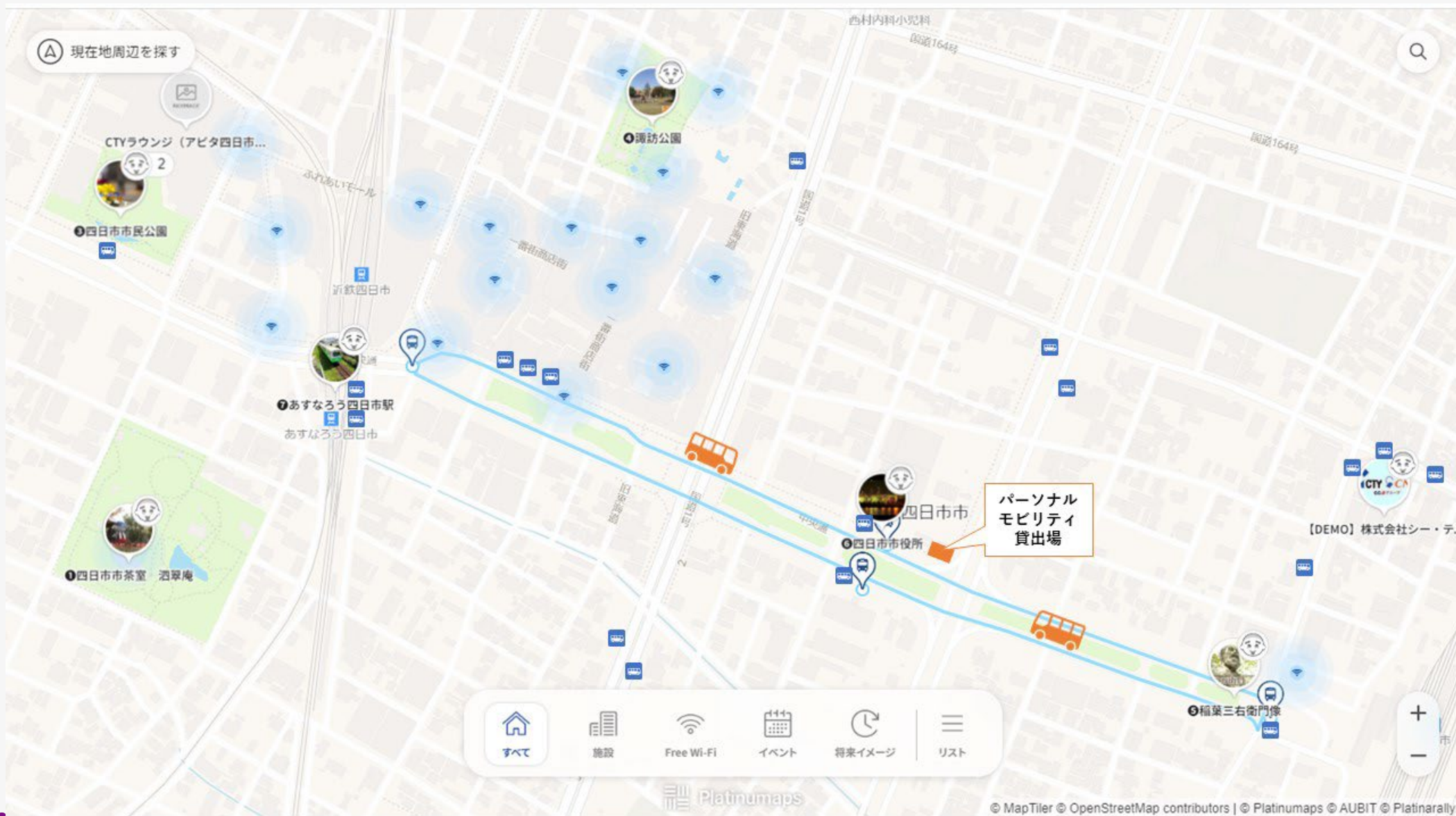
- | | |
|--------------|-----------------------|
| ① 四日市市茶室 泗翠庵 | ⑧ 稲葉翁記念公園 |
| ② 四日市市立博物館 | ⑨ 四日市市総合体育館
(中央緑地) |
| ③ 四日市市民公園 | ⑩ ばんこの里会館 |
| ④ 諏訪公園 | ⑪ もみじ谷 |
| ⑤ 稲葉三右衛門像 | ⑫ 南部丘陵公園 |
| ⑥ 四日市市役所 | ⑬ 垂坂公園・羽津山緑地 |
| ⑦ あすなろう四日市駅 | |



仕様

項目	内容	備考
デジタルスタンプ取得方法	GPS方式 ※参加者端末の位置情報をもとに目的地に近づくと自動的にデジタルスタンプを発行 ※デジタルスタンプの取得条件として目的地に関連したクイズの出題・回答が求められる	
交通施設表示	利用可能な交通施設をデジタルスタンプラリーのマップ上に重畳（データ連携） ※動的情報：自動運転EVバス、三交バス ※静的情報：バス停（自動運転EVバス、三交バス）、モビリティポート（電動スクーター、電動アシスト自転車）	
アンケート	景品の交換条件として参加者向けアンケート調査を実施 ※効果検証を目的とした利用者の満足度や利便性等を調査 ※スタンプ5個以上獲得した場合のみアンケート回答ボタンを表示	
データ取得	効果検証に資するデータを取得 （取得データ例） <ul style="list-style-type: none">・総利用者数・アクティビティタイムライン(時間帯別利用者数)・利用者属性（性別、年代、市内/市外住民）・目的地訪問順序・目的地間所要時間・目的地別スタンプ取得者数・参加者毎スタンプ取得数・日程/時間帯別スタンプ取得状況 等	

画面イメージ (参考)



景品

項目	内容	備考
交換日時・場所	日時：11月1日（水）～11月26日（日） 10:00～19:00 場所：アピタ四日市店 3F CTYラウンジ	
交換条件	初級コース：デジタルスタンプ5個以上 上級コース：デジタルスタンプ8個以上	
景品	「こにゅうどうくんオリジナルグッズ」 初級コース：クリアファイル x 1,000個 上級コース：3色ボールペン x 200個 ※景品はなくなり次第終了	



効果検証方法

事業目的を考慮したKGIと、ICT・アンケートを活用した効果検証指標を設定。

	概要	KGI	評価方法
目的1	回遊性向上：中央通り周辺における来訪者の回遊性向上	総利用者の内、スタンプ5個以上の取得者率30%以上	デジタルスタンプラリーの「スタンプ取得者数」「総利用者数」データにて計測 (スタンプ5個以上の取得者数÷総利用者数)
目的2	賑わい創出：中央通りの来訪者数の増加	総利用者数300名以上	デジタルスタンプラリーの「総利用者数」データにて計測
目的3	モビリティ利用機会提供：自動運転を含む多様なモビリティの利用機会提供	目的地への公共交通、自動運転バス、パーソナルモビリティ等の活用率15%以上	アンケート回答にて計測 (「モビリティ利用あり」の回答者数÷アンケート回答者数)
目的4	地域認知度向上：中央通り周辺における主要施設・名所の認知度向上	地域認知度向上率30%以上	アンケート回答にて計測 (「地域理解向上あり」の回答者数÷アンケート回答者数)

参考（木曾三川下流域デジタルスタンプラリー）：https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/kyogikai/pdf/211113kisosansen_digital_stamp_rally.pdf

スマートシティ実装化支援事業の進捗について

2023年11月22日

スマートシティ実装化支援事業の概要

本事業においては、「中央通りを中心としたデジタル時空間（ストック）マネジメント」をテーマとして、実行計画に定める取組のなかから、4つの事業を抽出。

中央通りを中心としたデジタル時空間（ストック）マネジメント

「四日市スマートリージョン・コア実行計画」に定める取り組み

今回実施する4つの事業

検討の階層	No.	取り組み内容
サービス まちなかウォークラブル・ネットワーク	01	ウォークラブル・ネットワーク、交通結節拠点としてのスマート・バスタの整備
	02	待ち時間や移動時間を楽しめるモビリティの導入
	03	ウォークラブル+ウェルネス環境の展開
サービス 使える・楽しめるパブリックスペース	04	パブリックスペースの可能性最大化
	05	インタラクティブなストリートファニチャー
	06	災害に強い中央通り
サービス 交流・賑わいのバリューアップ	07	人流誘導による商店街活性化
	08	スマート図書館
	09	メタバース（デジタルツイン）
ソフト・インフラ	10	データプラットフォーム
	11	3D都市モデル
ハード・インフラ	12	スマート・インフラ

1

利活用空間活性化ツールの構築

（左記03・04・10・12と対応）

2

四日市版MaaS（Phase-1）の構築

（左記02と対応）

3

**バーチャル空間における
コミュニケーション・ツールの構築**

（左記09・11と対応）

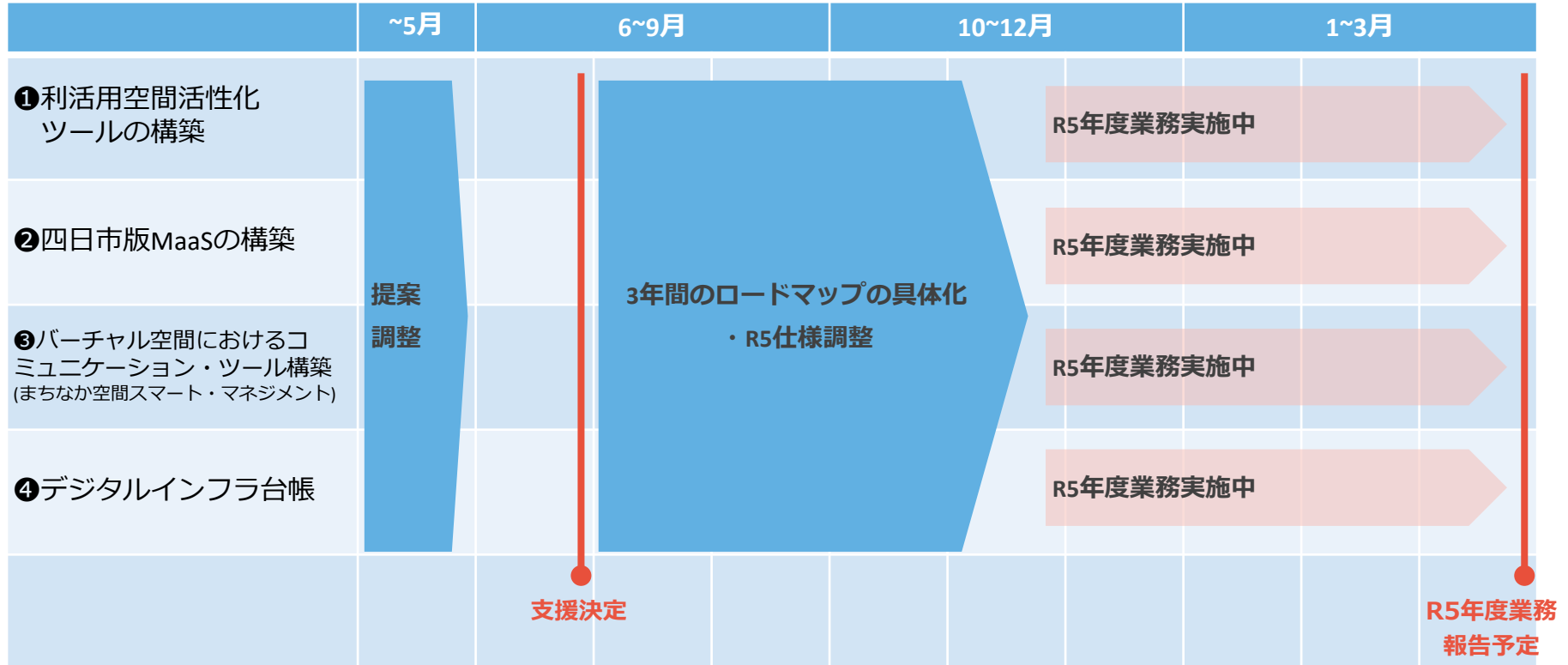
4

**中央通りにおける3D都市モデルを活用した
プランニング/マネジメント・ツールの構築**

（左記11及び実行計画p.17「ソフト・インフラ」と対応）

スマートシティ実装化支援事業の本年度のスケジュール

スマートシティ実装化支援事業の採択を受け、提案を行った幹事会企業と、3年間のロードマップの具体化・R5年度の仕様調整を実施。順次業務に着手している状況。



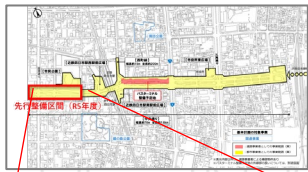
① 利活用空間活性化ツールの構築

『①利活用空間活性化ツールの構築』の全体像

①利活用空間活性化ツールの構築の中で、下記の2つの実装化を予定。

R5年度は歩行者用および自動車用AIカメラの整備と、3社向けサービスとしてのポータル・ダッシュボードの整備を行う。

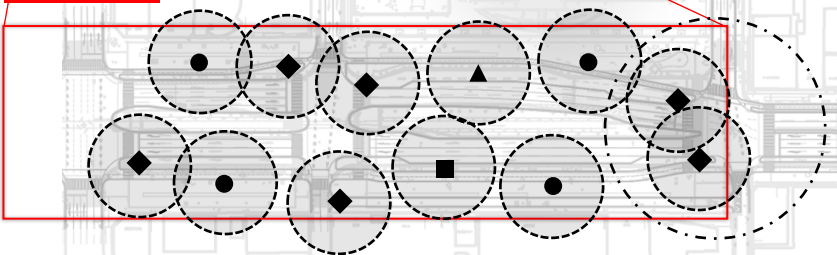
①スマート・インフラの整備



年度	設置物 (設置箇所凡例記号)	台数
R5	歩行者用AIカメラ(●)	4
	自動車用AIカメラ (市民公園東交差点周辺)	2
	環境センサ(●)※	4
	ローカル5Gゲートウェイ(●◆▲■)※	12
	無線アクセスポイント(●◆▲■)※	12
R6	デジタルサイネージ(★)	1

※印は別事業で整備

先行整備区間



- 凡例
- スマートポール ◆ 歩道部信号柱 ▲ WiFi専用柱 ■ 車道照明柱
 - WiFi通信範囲目安(半径20m) ○ 自動車用AIカメラ設置範囲 ★ デジタルサイネージ

- 歩行者用AIカメラでは、中央通りの先行整備区間内の利活用空間における、歩行者の通行人数の測定や属性の判別、混雑状況の識別を行う。
- 自動車用AIカメラでは、市民公園東交差点において、方向別の自動車交通量及び滞留傾向検知を行う。

② 3者向けサービス展開

連携データ

- 歩行者用AIカメラ：通行人数の測定や属性の判別、混雑状況
- 自動車用AIカメラ：方向別の自動車交通量及び滞留傾向
- 環境センサ：温度、湿度、気圧、風向、日射、感雨、雨量
- 無線アクセスポイント：利用者の属性
- イベント情報
- 防災情報 etc.

市民向け
情報発信等の整理

事業者向け
情報発信等の整理

自治体向け
情報発信等の整理

サービス検討

ポータル・ダッシュボードの各種媒体の構築



- 3者(市民、事業者、自治体)に対する情報発信及び利活用の促進のため、各種媒体を構築・実装化。

〔参考〕 仮) 四日市スマートシティポータルイメージ

・画面は参考にした事例です。構築する内容とは違います。



〔参考〕 豊洲スマートシティ



〔参考〕 会津若松

ステップイメージ



①利活用空間活性化ツールの構築のロードマップ

一年目：歩行者用および自動車用AIカメラの整備、3社向けサービスとしてのポータル・ダッシュボードの整備

二年目：スマート・インフラの運用（保守管理）、取得データの可視化、デジタルサイネージ設置

三年目：実装に向けた準備

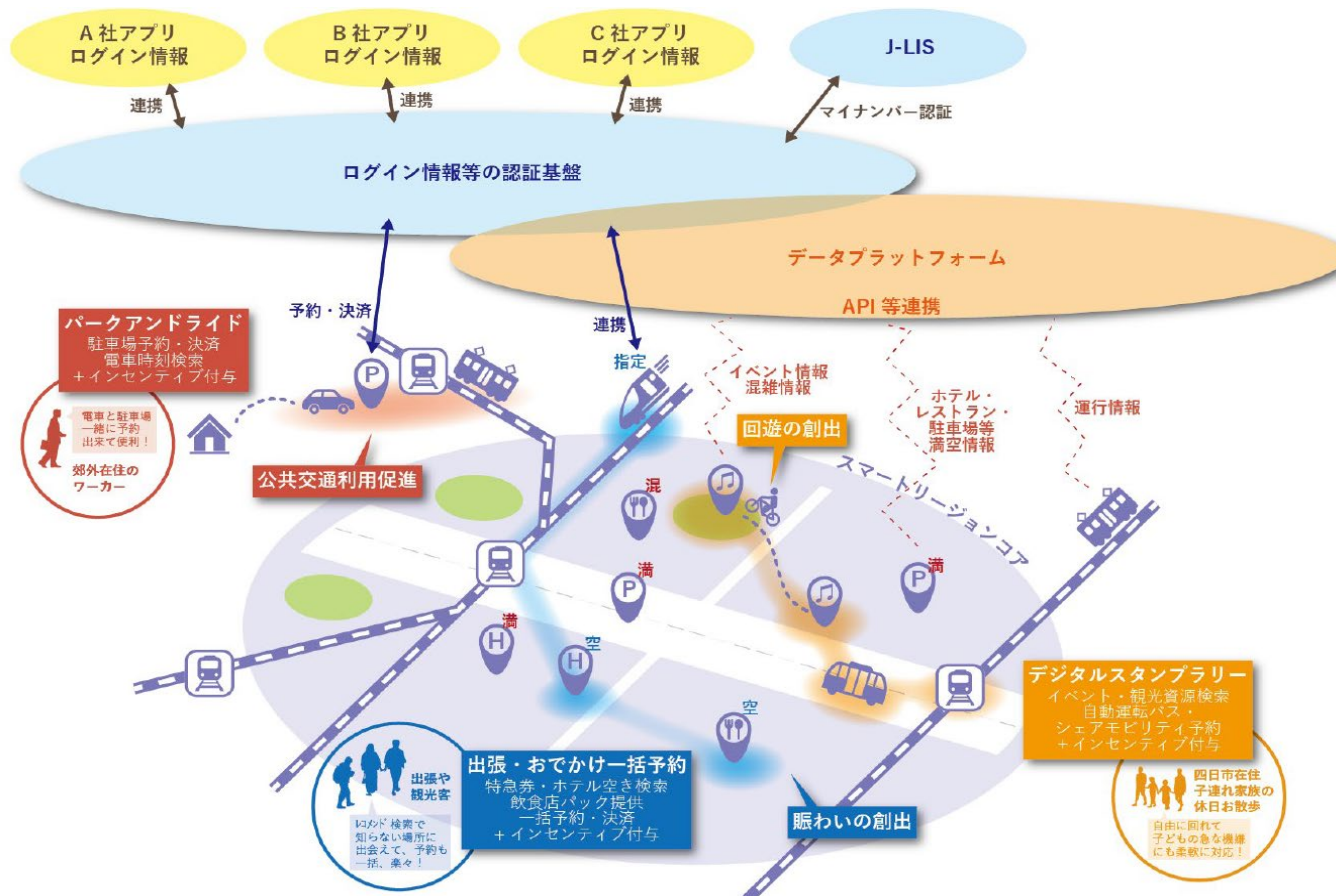
		R5年度				R6年度				R7年度			
		4-6	7-9	10-12	1-3								
スマート・インフラの整備	実施準備		仕様書作成										
	スマート・インフラの調達・設置・保守管理			スマート・インフラ設置(順次)		デジタルサイネージ設置							
	データプラットフォームとの連携				初期初動確認								
	とりまとめ												
3者向けサービスの展開	実施準備		仕様書作成										
	ダッシュボード構築												
	可視化内容検討												
	データプラットフォームとの連携				初期初動確認								
	とりまとめ												

② 四日市版MaaSの構築

『②四日市版MaaS』の全体ビジョン

四日市版MaaSの全体ビジョンとして、『交通アセットのデータ連携や共有IDを活用した民間サービスとの連携を通して「MaaS x まち歩き」の仕組みを構築し、地域の賑わい創出を実現する』ことを掲げている。

四日市版MaaSの全体ビジョン



『②四日市版MaaS』の開発プロセス

3つのフェーズを設定し、段階的に機能拡張や高度化を進めながらR8年度以降の実現を目指す。

Phase1&2を国交省スマートシティ実装化支援事業の一環として推進。

R5年度(本年度)は地域の回遊性向上等に資する機能開発・実証(デジタルスタンプラリー)を実施。

四日市版MaaSの開発プロセス

	Phase 1 (サービス①)		Phase 2 (サービス②)	Phase 3 (サービス③)
目的	まちなかにおける回遊性の向上		まちなかにおける回遊性の向上 + 新たな消費による周辺商業/ 観光施設の賑わい創出	まちなかにおける回遊性の向上 + 新たな消費による周辺商業/ 観光施設の賑わい創出を実現する専用アプリの提供
提供	次世代モビリティ(自動運転、パーソナルモビリティ)の予約 デジタルスタンプラリー(目的地)	+ 一部、公共交通や駐車場との接続実証	次世代モビリティ予約 デジタルスタンプラリー + 公共交通との接続 駐車場予約サービスと駐車場から目的地までの移動手段一括提供 周辺施設を対象とした、クーポン等の配信による連携	次世代モビリティ予約 デジタルスタンプラリー + 公共交通接続 駐車場予約等 クーポンポイント + 共通IDを活用した他企業アプリ連携(観光予約サイト、食ベログ、ポータルサイト等)
手段	アプリケーション (WEBベースを想定)		アプリケーション (WEBベースを想定)	専用アプリケーション
主な顧客	四日市市民		四日市や周辺の住民、 ビジネスマン	四日市や周辺の住民、 ビジネスマン、観光客
いつ	令和5年度: 実証実験	令和6年度: 実証実験	令和7年度以降	令和8年度以降

本年度の取組のイメージ（デジタルスタンプラリー）

四日市市 Smart Mobility in YOKKAICHI

モビリティ実証実験

2023.11.1(水)～19(日) **参加無料**

自動運転バス 乗車登録方法

- 自動運転バスのご乗車には乗車登録が必要です。
- 土日祝は事前予約ができます。※10/25(水)より受付を開始します。

STEP 1 登録・予約サイトもしくはCTYコネクトアプリからアクセス

STEP 2 画面に従い二次元コードを発行

STEP 3 二次元コードを提示して乗車

登録・予約完了後二次元コードが発行されます。

乗務員がタブレットで二次元コードを読み取ります。

こにゅうどうくん 誕生!

自動運転バスや公共交通機関を使って楽しく快適に市内を周遊しよう!

デジタルスタンプラリー同時開催

参加方法

- CTYコネクトアプリをダウンロード
- MyCTYへログインし、「スタンプラリー」より参加
※初めてのの方はMyCTYの登録をお願いします。
- 各スポットでクイズに答えてデジタルスタンプをゲット!
※アプリの位置情報をONにしてください。
- 5箇所以上スタンプを集めて景品と交換!

景品

スタンプの数に応じて「こにゅうどうくんオリジナルグッズ」をプレゼント!
5個以上でクリアファイル
8個以上でさらに3色ボールペンをプレゼント

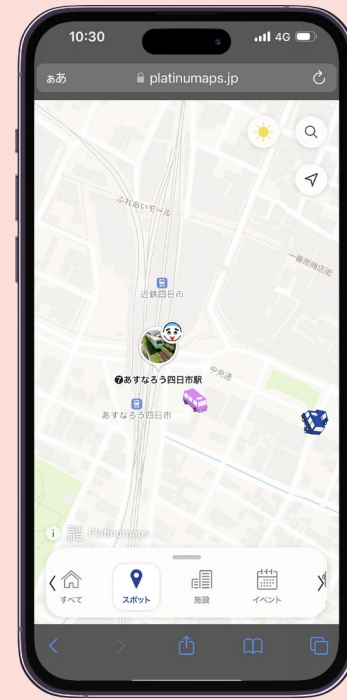
交換期間 11/1(水)～26(日)

交換場所 CTY ラウンジ(トナリ工四日市3階)
※景品はなくなり次第終了です。

デジタルスタンプラリースポット

- ① 四日市市茶室 迎翠庵
- ② 四日市市立博物館
- ③ 四日市市民公園
- ④ 真砂公園
- ⑤ 稲葉三右衛門像
- ⑥ 四日市市役所
- ⑦ あすなろう四日市駅
- ⑧ 稲葉義記念公園
- ⑨ 四日市市総合体育館(中央緑地)
- ⑩ ばんこの里会館
- ⑪ もみじ谷
- ⑫ 南部丘陵公園
- ⑬ 垂坂公園・羽津山緑地

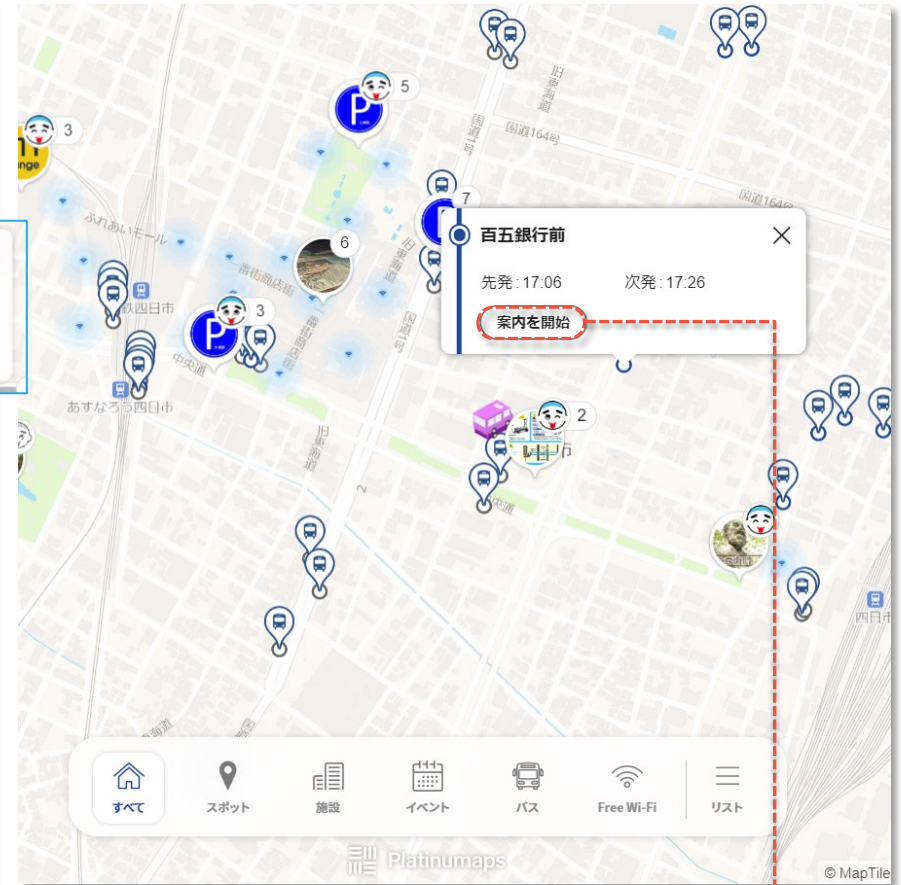
※参加にあたって発生する交通費や通信費等は参加者のご負担となります。



- ✓ スポットに近づいてクイズに回答し、デジタルスタンプを取得。
- ✓ スタンプ数に応じて景品を提供。

参加者アンケート、アプリ取得データに基づき
効果検証を実施

本年度の取組のイメージ（交通情報、施設情報等の連携）

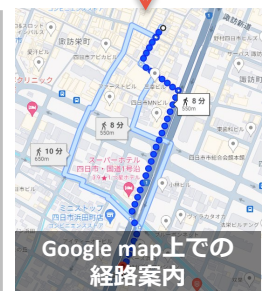


対象エリア*において、バス停の位置情報、時刻表データ、三重交通及び自動運転バスのリアルタイム位置情報を重畳。

*三重交通路線バスの重畳対象エリア：三重交通四日市管内

*自動運転バスの重畳対象エリア：中央通りの自動運転実証区間

中心市街地のスポット情報、施設情報、イベント情報等をマップ上で統合表示。Google mapと連動する経路案内を提供。



②四日市版MaaSの構築のロードマップ

四日市版MaaSを段階的に整備するためのロードマップを整理。

一年目：MaaS Ph 1-1の実装（地域アセット連携、街歩きイベント連携）

二年目：MaaS Ph 1-2の実装（地域交通との連携）

三年目：MaaS Ph 2の実装（地域の民間サービスとの連携）

		R5年度				R6年度				R7年度			
		4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
MaaS Ph 1-1の実装 (地域アセット連携、街歩きイベント連携)	デジタルスタンプラリー開発		→	■									
	イベント企画・準備		→	■									
	取り纏め				→								
MaaS Ph 1-2の実装 (地域交通との連携)	MaaSデータ連携					→	■						
	MaaSアプリ定義検討					→	■						
	イベント企画・準備					→	■						
	取り纏め							→					
MaaS Ph 2の実装 (地域の民間サービスとの連携)	外部サービス検討									→		■	
	外部サービス連携										→	■	
	イベント企画・準備										→	■	
	取り纏め												→

③バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築

『③バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築』の全体像

道路空間再整備後の将来イメージを重畳したバーチャル空間(3D都市モデル)を整備予定。

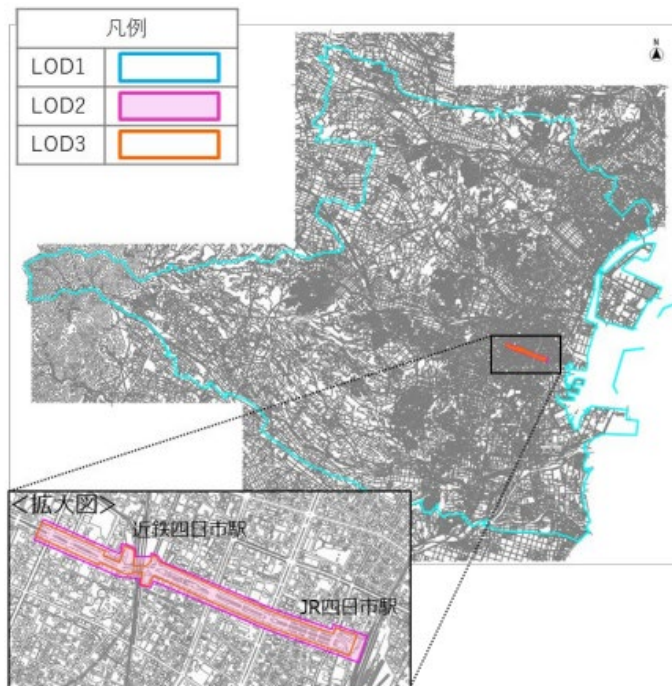
同バーチャル空間と沿道空間活用ウェブサイト(次項)により、中心市街地における市民の関心度の向上、地域産業の活性化、来訪者数の増加を目指す。

バーチャル空間：3D都市モデル(Project PLATEAU)*1

*1 四日市市3D都市モデル公開サイトの仕様を踏まえて連携可否検討

四日市市では、R4年度からProject PLATEAUに参画し3D都市モデルを整備。中心市街地のまちづくりや、災害リスクの可視化による防災・減災対策に活用することを検討。中央通り沿道はLOD2~3のモデルを作成。

別途、道路空間再編後の将来イメージの重畳を予定（※R5年度都市空間情報デジタル基盤構築支援事業を活用）。



四日市市3D都市モデル公開サイト：<https://www.city.yokkaichi.lg.jp/3d-city/index.html>

沿道空間活用ウェブサイトのイメージ

中央通りを中心とした沿道空間(公共空間及び民間遊休不動産)の活用を促進するウェブサイトを作成する。
同ウェブサイトと3D都市モデルを組み合わせたことを検討する。



スマートシティ実装化支援事業対象

『③バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築』のロードマップ

一年目：中央通りを中心とした沿道空間調査、沿道空間活用ウェブサイトの構成案の検討

二年目：沿道空間活用の仕組み検討、沿道空間活用ウェブサイトの作成

三年目：沿道空間の活用試行、仕組み及びウェブサイトの調整

		R5年度				R6年度				R7年度			
		4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
中央通りを中心とした沿道空間調査、沿道空間活用ウェブサイトの構成案の検討	仕様調整		仕様書作成		意見交換会の実施								
	沿道空間の調査												
	ウェブサイト構成案の検討												
	とりまとめ												
沿道空間活用の仕組み検討、沿道空間活用ウェブサイトの作成	仕様調整												
	沿道空間活用の仕組み検討												
	沿道空間活用ウェブサイトの作成												
	とりまとめ												
沿道空間の活用試行、仕組み及びウェブサイトの調整	仕様調整												
	沿道空間の利用調整の試行												
	ABの調整												
	とりまとめ												

④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用した プランニング／マネジメント・ツールの構築

『事業④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング／マネジメント・ツールの構築』の全体像 ～地下埋設物のデジタルインフラ台帳検討業務

Project PLATEAUを活用した中央通りの地下埋設物のデジタルインフラ台帳を構築し、インフラの維持管理の効率化に加え、より使いやすい公共空間の実現を目指す。

スマートシティ実装化支援事業では、先行整備区間のデータ構築を想定する。本年度はそのうちの一部(10m×10m)のデータ構築を実施する。

図 事業対象範囲案

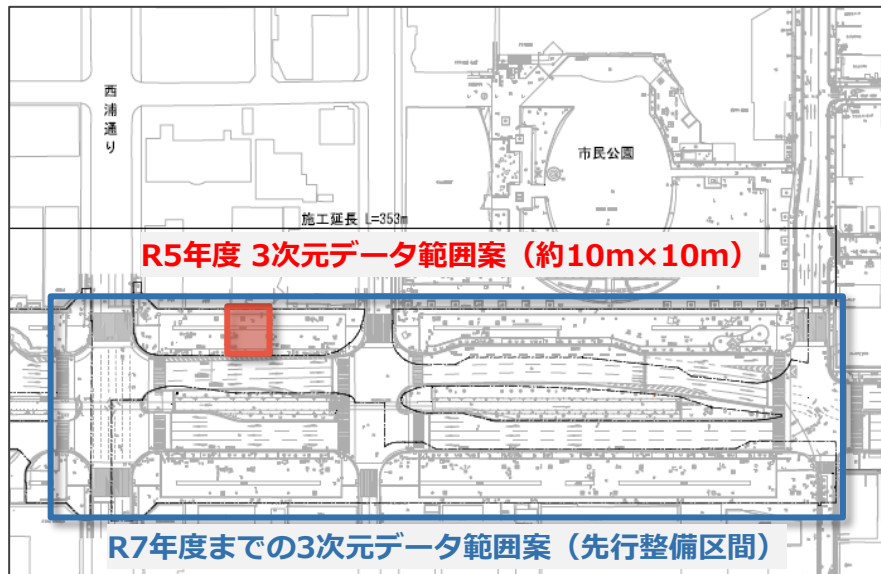
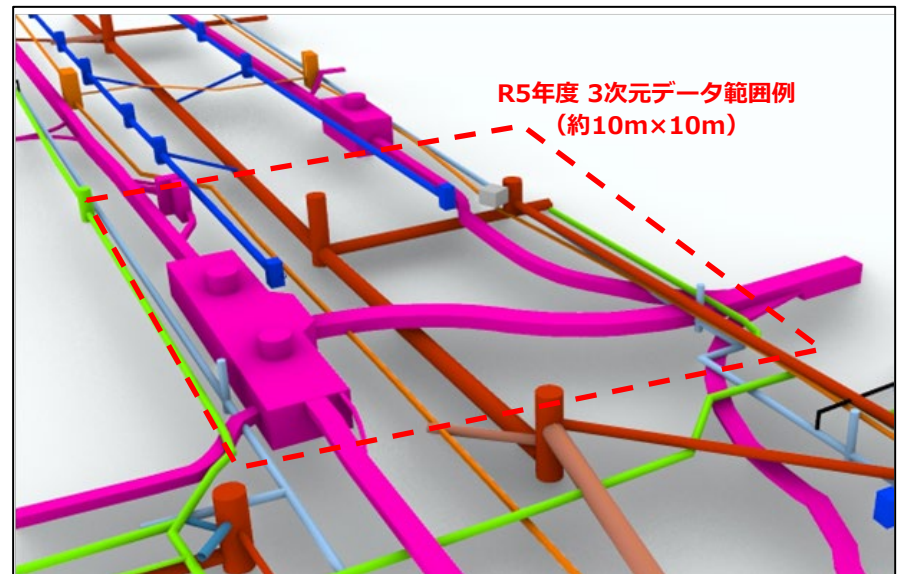


図 地下埋設物3次元データのイメージ



事業④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築 ～地下埋設物のデジタルインフラ台帳検討業務

R5年度の現場ヒアリング・課題抽出を踏まえてR6,7年度の方向性を検討。
工事完了後の正確な3Dデータを保持することにより今後の民間活用を見込む。

		R5年度				R6年度				R7年度			
		4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
デジタル インフラ台帳検討	現場ヒアリング 課題抽出			現場ヒアリング 課題抽出									
	活用方法						活用方法検討		検討を踏まえたツール化等の実証・実装、				
データ作成				先行整備区間の一部 (10m×10m)			先行整備区間 ※今年度業務での検討結果を踏まえて、モデル化範囲を見直す可能性があります						

■ R5年度の実施内容

(1) 資料の収集・整理
(2) 関係者ヒアリングによる検討
地下埋設物事業者（電気、ガス、通信、上下水道）、道路管理者、公園管理者等の関係者へ地下埋設物および植栽・樹木に関するヒアリングを実施
維持管理に必要な情報、業務上の課題・ニーズ等を確認し、その結果を基に、業務の効率化等の効果が得られる地下埋設物および植栽・樹木の3D都市モデルについて収集・検討を行う
(3) PLATEAUの標準仕様等との整合性の調整
(4) 地下埋設物の3次元データの作成
汎用性の高い3次元データ作成ソフトであるRhincerosを用いて、本年度中に地下埋設物移設工事が完了する約10m×10mの範囲を対象として地下埋設物の3次元データを作成
(5) 地下埋設物台帳のDX管理に向けた属性情報の検討
(2)の関係者へのヒアリング結果等を踏まえ、地下埋設物台帳のDX管理に必要な地下埋設物の属性情報を検討
(6) 地下埋設物の3D都市モデルを活用したデジタルインフラ台帳の構築
(4)で作成した地下埋設物の3次元データについて、ArcGISに読み込めるデータ形式に変換し、(5)で検討した属性情報を付加してDX管理のプラットフォームとなる地下埋設物の3D都市モデルを活用したデジタルインフラ台帳を構築